

『2014 カデ&ジュニアアジア選手権結果報告』

第5日目/3月12日(水)

【ジュニア男子エペ】

<最終結果 1位~3位> 14ヶ国/48名参加

- 1位 山田 優 (JPN/日本大学)
- 2位 HO Sze Hou (HKG)
- 3位 CHEN Zhaohao (CHN)
- 3位 ALFUDARI Hasan (KUW)

<日本選手結果>

- 1位 山田 優 (日本大学)
- 9位 武田 仁 (慶應義塾大学)
- 14位 成田遼介 (日本大学)
- 34位 藤倉 陸 (法政大学)

<予選プール>

- 山田 優/5勝0敗 (1人棄権、T32にシード)
- 成田遼介/3勝2敗 (1人棄権、T32にシード)
- 武田 仁/5勝0敗 (1人棄権、T32にシード)
- 藤倉 陸/2勝3敗

<T64>

- 藤倉 陸 14対V15 CHEN Zachary Yi (SIN) /藤倉-敗退

<T32>

- 山田 優 V15対10 JALILOV Jurabek (UZB)
- 武田 仁 V15対6 ALMUWALLAD Waleed (KSA)
- 成田遼介 V15対10 SHARLAIMOV Vadim (KAZ)

<T16>

- 山田 優 V15対14 KAMJO Mirsalar (IRI)
- 武田 仁 V15対3 ALFUDARI Hasan (KUW) /武田-敗退
- 成田遼介 V15対10 CHEN Zhaohao (CHN) /成田-敗退

<T8>

- 山田 優 V15対10 ADAIKIN Dmitriy (KAZ)

<セミファイナル>

- 山田 優 V15対V15 CHEN Zhaoho (CHN)

## <ファイナル>

山田 優 V15 対 8 HO Sze Hou (HKG)

### 「総括」

試合まで3日の期間があった為、各自時差調整や体のケア、レッスン、ファイティングの時間を十分に取ることができ、良い状態で試合に臨むことが出来た。

予選は全員が通過し、山田、武田、成田の3名がT32スタート 藤倉がT64スタートとなった。藤倉は序盤はシーソーゲームを展開、終盤で一点差を詰める事ができず敗れてしまった。

山田、武田は1回戦を危なげなく勝利、成田もシーソーゲームを制し16に進出した。2回戦、成田が中国の選手に対してリードされていたが第三セットで逆転に成功。しかし残り時間20秒で3点差を詰められて一本勝負を制する事ができず敗れてしまった。同じく武田も序盤に3点リードしていたが、中盤に相手の素早い動きに対応することが出来ず敗れてしまった。

山田は2回戦、3回戦を順調に勝ち進み、続く準決勝で成田が敗れた相手と対戦、1本勝負を制し決勝に進出。決勝では開始1分で4点を取られたもののそこから立て直し、最終的にV15-8で圧勝となった。

全体の試合を通しての感想は時間の使い方や試合の展開が非常に良かった。リードされていても少しずつ点を詰める事ができていた。明後日行われる団体戦でも優勝できる力はあると感じた。

エペコーチ/山本美迪也

### 【ジュニア女子フルーレ】

<最終結果/1位~3位>19ヶ国/55名参加

- 1位 KE Yulong (CHN)
- 2位 GU Xin Yuan (CHN)
- 3位 柳岡はるか (JPN/法政大学)
- 3位 ZHU Haiyu

### <日本選手最終結果>

- 3位 柳岡はるか (法政大学)
- 8位 伊藤真紀 (岐阜県立大垣南高等学校)
- 9位 真田玲奈 (法政大学)
- 12位 安部夏帆 (専修大学)

### <予選プール>

- 柳岡はるか/4勝1敗
- 伊藤真希/3勝2敗
- 真田玲菜/5勝0敗 (T16にシード)
- 安部夏帆/4勝1敗

### <T32>

- 柳岡はるか V15 対 8 LAU Cheuk Yu (HKG)
- 伊藤真希 V13 対 12 MOHSENI Motaha (IRI)
- 安部夏帆 V15 対 8 LOZADA Wilhelm (PHI)

<T16>

柳岡はるか V15 対 11 安部夏帆/安部-敗退  
伊藤真希 V15 対 6 真田玲奈/真田-敗退

<T8>

柳岡はるか V15 対 14 CHENG Hiu Wai  
伊藤真希 V15 対 8 CHEN Qingyuan/伊藤-敗退

<セミファイナル>

柳岡はるか 10 対 V15 XIONG Xueying/柳岡-敗退

「総括」

日は女子フルーレ個人戦が行われ柳岡選手が銅メダルを獲得いたしました。T16にて日本人どうしの試合が2試合行われ2名が敗退いたしました。T8では伊藤選手がCHEN選手(中国)と対戦、身長差もありなかなか攻撃が決まらず点差をつけられてしまい敗退、同じT8で柳岡選手はCHENG選手(香港)と対戦、自分の攻撃権がなかなか取れず、1点の勝負に成るが、落ち着いて攻撃を決め勝利した。準決勝で柳岡選手はXION選手(中国)と対戦、相手の攻撃をなかなか止める事ができず、15対10で惜敗した。監督兼フルーレコーチ/岡崎直人